

木の未来を考えよう
「ツリーズ フロム ツクイ」

TAKE FREE
¥0



発行 相模原市
編集 さがみはら津久井産材利用拡大協議会
電話 042-780-1401
発行日 2021年4月



新連載：
届け！森に感謝のリリック！
漫画「森林ラッパー ひのきんぐ」

特集：今なぜ「地元材」を薦めるのか？

津久井の森林は今が旬！
未来の津久井の森はどうなるの！？

- # 建てるなら地元材の家がいらしい。
- # さがみはら津久井産材
- # 未来の森林
- # 風土に合った地元の木
- # 木の演技



今、なぜ地元材を薦めるのか？

おすすめ!

材木にも国産と外国産があるんです!!!

当たり前のことですが念のため強調しておきます。木材にも牛肉と同じよう和牛ならぬ“和木＝国産材”があります。そして、神戸牛や松坂牛といった、地域に根ざした地元材があるんです！



家の建材は暮らしの一部です。この建材に最も適しているのは、その地域の気温や湿度といった自然環境で育った地元材。環境に適応した木材は、湿潤機能に優れ丈夫で長持ち、季節ごとの室内空間を快適にしてくれます。そして、周辺の森林環境の改善に大きな役割も果たします(※)。



※山の整備、保全には適切な間伐をする必要があります。間伐をすることで森林に陽光が入り、根が張り保水力のある「健全な森」になります。また、近年増加している自然災害の被害防止、減少といった意味でも地元材を使う価値はとても高いのです。

「さがみはら津久井産材」は名産地から生まれる優秀な木材

古くは江戸の時代より相模川を通じて街に材木を届けた津久井地区はいわば“木材の名産地”です。その品質はまさに“ブランド材”。高い評価と昨今の地元材への注目の高まりから、目に見える形でエンドユーザーまで届ける取り組みが始まっています。



産地証明

こんな工夫をして津久井産材を業者間で管理し、お客様へ品質を証明しています

※このフロー図は、木材の一般的な流通モデルを示したもので、実際の流通においては取引状況により異なることがあります。



ついでにSDGs達成にも一役買える♪



さがみはら津久井産材公式ロゴマーク
多様な生物が生き活きと暮らす豊かな森。そこに住む微生物のような、妖精のような子。そんなイメージで作りました。津久井産材の一部には焼印が押されていますので探してみてくださいね。

15 陸の豊かさを守ろう

13 気候変動に具体的な対策を

SDGsって知ってますか？ そうです、持続可能な開発目標ということです。これからは“持続可能な社会の実現”がもはや必須条件の時代。地域の暮らしに馴染むような木材のある生活をする。地元材の活用は世界的トレンドでもあるのです。

例えばリフォームやウッドデッキ、家具や木工品作りなど、身近なものに私たちを活用することでCO₂削減、豊かな森作りに貢献することができ私たちのパートナーである林業や製材業や加工業を守ることに繋がります♪



原作: M太郎
作画: さとうあや

津久井の森林は伐採適齢期

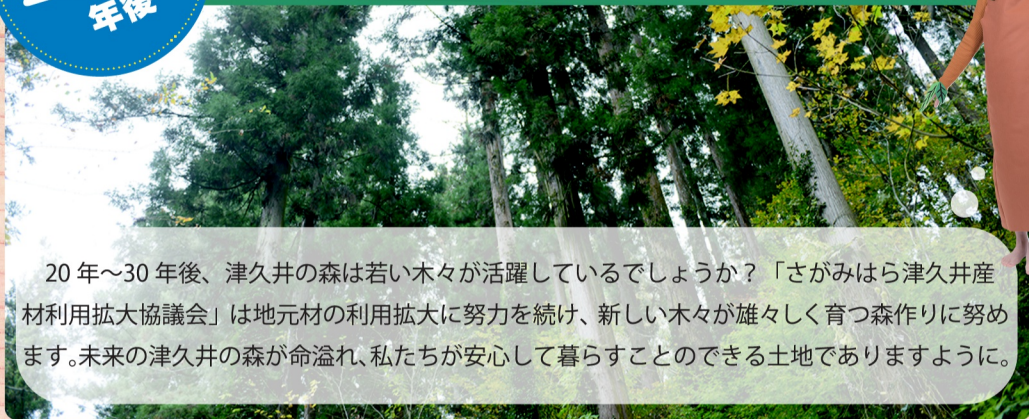
今が旬!



今、伐採と新たな植林の時期を迎えている津久井の森林。スギやヒノキは植林して50~70年が伐採適齢期と言われています。そして伐った後に植林すれば、若い木々は二酸化炭素をたくさん吸収し、多くの酸素を生成してくれます。地元の自然環境に好影響を与える津久井の地元材は今が使いどき、まさに旬の材木なのです!

20年後

未来の津久井の森はどうなるの?



20年~30年後、津久井の森は若い木々が活躍しているでしょうか? 「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」は地元材の利用拡大に努力を続け、新しい木々が雄々しく育つ森作りに努めます。未来の津久井の森が命溢れ、私たちが安心して暮らすことのできる土地でありますように。

公共的な施設の木造化・木質化に半額補助(上限あり) 一般住宅の新築・増改築への補助制度も! ※条件有り

ご存知ない方も多いかもしれませんが、「さがみはら津久井産材」の利用に対して相模原市の補助金制度が適用されるケースがあります。詳細な条件については相模原市のホームページへ! (右のQRコードからもご覧いただけます)



どんどん使おう 津久井の森の木



つくいのこ

森林が生活環境を守ってくれるんです！

地球温暖化等の影響により、猛暑や干ばつ、豪雨などの異常気象が生じており、その対策が求められています。更には、温暖化の原因となっている二酸化炭素（CO₂）を削減し、脱炭素社会の実現を目指す必要があります。

令和元年東日本台風により、津久井地域の山林は未曾有の被害を受けました。これは、昭和30年代に植林された人工林がその後の林業の衰退により、間伐などの整備がされていないことも一因になっています。光合成により、CO₂を固定してくれる木は、伐採しても利用せず放置したままだと朽ちてCO₂を発します。伐採木を木材に加工し活用することで、CO₂を固定するとともに、木の持つ抗菌作用、湿度調整機能などが発揮されます。

このように私たちの生活環境を守ってくれる木を建材・家具・木工品などに活用し、更に地元材を使うことで地元林業の再生の源にもなります。

今、自然環境にとっても、住環境にとっても、地元材の活用が求められています。